

TICAD 直前！アフリカ案内人に聴く ～変わるアフリカ、2030年への展望～

<本日のプログラム>

(敬称略)

18:30 主催者挨拶： JICA 北海道（札幌） 次長 篠山 和良

18:35 アフリカトーク『アフリカの魅力！アフリカの変化を再発見！』

<パネリスト>



蒔田 浩平（酪農学園大学教授／ウガンダ草の根技術協力事業）

日本と開発途上国で、異分野連携と疫学・予測技術を用いて人獣共通および家畜感染症の効果的制御に取り組む獣医疫学者。2016年9月～2019年9月、ウガンダで JICA 草の根技術協力事業「ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト」に取り組んでいる。



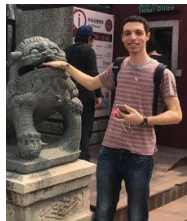
鈴川 雅未（青年海外協力隊 2016 年度 3 次隊 エチオピア観光）

札幌生まれ。旅行会社勤務後、青年海外協力隊に観光職種で参加。エチオピア南部諸民族州の文化観光スポーツ局で、州の観光振興に取り組んだ。エチオピアの観光情報発信やお土産の新しいアイデアとして、コーヒーの飲み比べセットを作り、販売も行った。



小越 みずゑ（青年海外協力隊 26 年度 3 次隊 タンザニア数学教育）

福岡県生まれ、苫小牧在住。スノーボードのため北海道に移住。新婚旅行でアフリカにハマリ、協力隊でタンザニアに舞い戻る。現在はガイド（北海道・タンザニア）、タンザニア布・小物販売、英会話講師、できる全てが仕事のマルチヨガティーチャー。



オサマ・ベン・ラビハ（チュニジア人、JICA 長期研修員（北海道大学留学生））

JICA の ABE イニシアティブプログラム第 4 回研修員。出身はチュニジアのチュニス。チュニス・エルマナル大学大学院工学院工業工学専攻（2011年9月～2016年7月）。趣味は色々な文化を知ること、音楽、国内外旅行、友達との交流。



砂崎 浩二（JICA 北海道 研修業務課職員）

岡山県生まれ。2018年9月より現職、赴任に伴い札幌に移住。タンザニア、セネガル駐在を経て、2016年から2年間、園芸プロジェクトの専門家としてケニア農業省で勤務。10年間をアフリカで過ごしたサラリーマン。

<進行役>野吾 奈穂子（JICA 北海道 市民参加協力課職員）

東京都生まれ。環境庁（現・環境省）を経て2005年に JICA に転職、ケニア、ガーナ、ザンビア等アフリカ地域の青年海外協力隊を担当。2016年10月より現職。「持続可能な開発目標（SDGs：エス・ディー・ジーズ）」のテーマソング「もっと輝く未来のために～Go for SDGs!」を制作して JICA 北海道 YouTube で公開。



19:45 質疑応答

～会場内の写真展やアフリカの衣装、民芸品をお楽しみください～

20:00 終了 アンケートへのご協力をお願いいたします。



主催：JICA 北海道（札幌） 後援：北海道、札幌市、札幌国際プラザ、北海道新聞社

